

2011年3月期 通期

(2010年4月～2011年3月)

# 決算説明資料

株式会社 アドテック



# 1: 事業概要

## 1: 事業概要

## 2: 2011年3月期決算概要

## 3: 2012年3月期予想

### —ADTEC, Memory & Technology—

アドテックは、「お客様本位」・「品質第一」を基本方針とし、お客様のニーズに対応する、高品質で価格競争力のある優れた製品(メモリモジュール製品、フラッシュメモリ製品、その他製品)を開発し、きめ細やかな対応をもって市場に展開してまいります。

- 会社名 : 株式会社アドテック  
 代表者名 : 代表取締役社長 厚坂 誠  
 創立年月日 : 昭和58年2月17日  
 資本金 : 7億円  
 従業員数 : 35名(平成23年3月31日現在)  
 本店所在地 : 東京都中央区湊一丁目1番12号  
 事業内容 : 電子部品及びコンピューター関連製品の  
 開発・製造・販売  
 支店 : 大阪支店、福岡支店  
 監査法人 : 内田譲二・大島康一公認会計士共同事務所



メモリ製品の開発・設計及び製造管理

メモリ製品の開発・設計及び製造管理における環境対策

1: 事業概要

2: 2011年3月期決算概要

3: 2012年3月期予想

積極的な受注活動  
原価低減と固定費削減



売上・粗利の拡大  
収益改善

(単位:百万円)	2010年3月期	2011年3月期	前年同期比	主要因
売上高	1,722	1,777	103%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メモリモジュール、フラッシュメモリに特化した受注活動</li> <li>● OEM顧客向け販売数の増加</li> <li>● 新規案件の獲得</li> <li>● 在庫の削減、適正在庫</li> </ul>
売上総利益 売上総利益率	74 4.3%	338 19.0%	452%	
販管費	499	314	63%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人件費の削減</li> <li>● 経費削減</li> </ul>
営業利益 営業利益率	△424 —	23 1.3%	—	
営業外損益	8	△6	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 為替差損、支払利息</li> <li>● 養老保険満期による雑収入の増加</li> </ul>
経常利益 経常利益率	△415 —	16 1.0%	—	
特別損益	3	3	93%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 固定資産除却損、過年度修正損</li> <li>● 貸倒引当金の戻入、過年度修正益</li> <li>● 新株予約権戻入益</li> </ul>
当期純利益 当期純利益率	△415 —	16 0.9%	—	

## 2: 2011年3月期決算概要—品目別販売状況—

1: 事業概要

2: 2011年3月期決算概要

3: 2012年3月期予想

### メモリモジュール、フラッシュメモリに特化した営業活動 メモリ製品分野の深化・拡大 (B to Bビジネス、インダストリアルメモリ製品)

(単位:百万円)	2010年3月期	2011年3月期	前年比	主要因
メモリモジュール	838	1,140	136%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OEM顧客向け販売数の増加</li> <li>・新規案件の獲得</li> </ul>
フラッシュメモリ	402	431	107%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OEM顧客向け販売数の増加</li> <li>・新規案件の獲得</li> <li>・スマートフォン需要による高容量カードの販売増</li> </ul>
車載関連	64	85	133%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車輸送業界の景気低迷による設備投資控え</li> <li>・競合先の増加</li> <li>・大型案件の獲得</li> </ul>
その他	416	119	29%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業方針の変更 (メモリ関連事業に特化)</li> </ul>
売上高合計	1,722	1,777	103%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OEM顧客向け案件のメモリ製品 (DRAM、NAND)が牽引</li> </ul>

1: 事業概要

2: 2011年3月期決算概要

3: 2012年3月期予想

資本金の減少 = 繰越損失(H22.3.31時点) の全額解消

(単位: 百万円)

項目	2010年3月期	2011年3月期	増減	主要因
<b>流動資産</b>	1,381	1,344	△37	
現金及び預金	796	826	30	現預金の増加
受取手形・売掛金	256	265	9	売上債権の増加
棚卸資産	208	152	△55	在庫の減少(適正在庫へ)
その他流動資産	120	98	△22	
<b>有形・無形固定資産</b>	41	44	2	
<b>投資等その他の資産</b>	70	43	△26	保険積立金、立替金の減少
<b>資産計</b>	1,493	1,432	△61	
<b>流動負債</b>	327	253	△74	
買掛金	73	65	△8	仕入債務の減少
短期借入金	198	125	△73	借入金返済
その他流動負債	55	62	7	
<b>固定負債</b>	44	48	3	
<b>株主資本</b>	1,111	1,127	16	科目内の振替、当期純利益
資本金	1,469	700	△769	資本金の減少
資本剰余金	281	541	260	その他資本剰余金の増加
利益剰余金	△508	16	525	欠損填補と当期純利益
自己株式	△130	△130	0	
<b>評価・換算差額等</b>	△1	△1	0	
<b>新株予約権</b>	11	5	△6	退職に伴う権利消滅
<b>純資産合計</b>	1,121	1,131	9	
<b>負債及び純資産計</b>	1,493	1,432	△61	

2: 2011年3月期決算概要—C/F—

1: 事業概要

2: 2011年3月期決算概要

3: 2012年3月期予想

**営業・投資キャッシュフローの増加、  
財務キャッシュフローの減少（短期借入金の返済）**

（単位：百万円）

項 目	2010年3月期	2011年3月期	当期増減の主要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	158	<b>107</b>	棚卸資産の減少 (55) 税引前当期純利益 (20) 減価償却費 (12)
投資活動によるキャッシュ・フロー	41	<b>8</b>	有形固定資産の取得 (△13) 保険積立金の解約 (11)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81	<b>△73</b>	短期借入金の返済 (△73)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	<b>△11</b>	
現金及び現金同等物の増減額	119	<b>30</b>	
現金及び現金同等物の期首残高	677	<b>796</b>	
現金及び現金同等物の中間期末残高	796	<b>826</b>	

## 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消

2010年3月期売上高の著しい減少、継続的な営業損失の発生 ⇒ 注記の記載

注記の記載を解消すべく

※経営基盤の再構築と収益構造の改善

※業績の回復

- ・選択と集中による売上拡大
- ・OEMビジネスの強化と新規案件獲得による収益の安定化
- ・徹底した在庫管理による在庫コストの削減
- ・原価低減、経費削減の継続
- ・社員教育(コスト・利益意識)



◎2011年3月期営業利益の計上

◎2012年3月期営業利益増額の見込み

(収益構造の改善施策の継続＝収益の安定)



注記の記載解消

1: 事業概要

2: 2011年3月期決算概要

3: 2012年3月期予想

**お客様本位(全員営業) 品質第一**

◎製品開発力の維持向上 ◎品質の向上と安定 ◎速やか、きめ細やかな対応

**メモリー関連製品** ※B to B ビジネス (OEM向けインダストリアルメモリー製品の拡充)

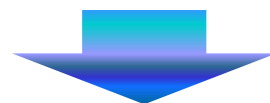
【メモリモジュール】 ・サーバー用メモリモジュール ・組込PC用メモリモジュール ・カスタマイズ製品(OEM向け製品)  
【メモリーカード】 ・SATAインターフェース製品 ・低容量、高容量フラッシュカード ・SSD

**車載関連製品** ※ドライブレコーダー ※車載用防犯カメラ

**新規製品、新規事業への積極的な取り組み(挑戦)**

☆新規顧客・販路拡大  
☆新規案件の獲得  
☆売上拡大

☆経費節減(総経費の適正化)  
☆原価低減  
☆在庫管理



◎安定した収益の確保と業績の拡大  
◎成長戦略に向けての基礎固め



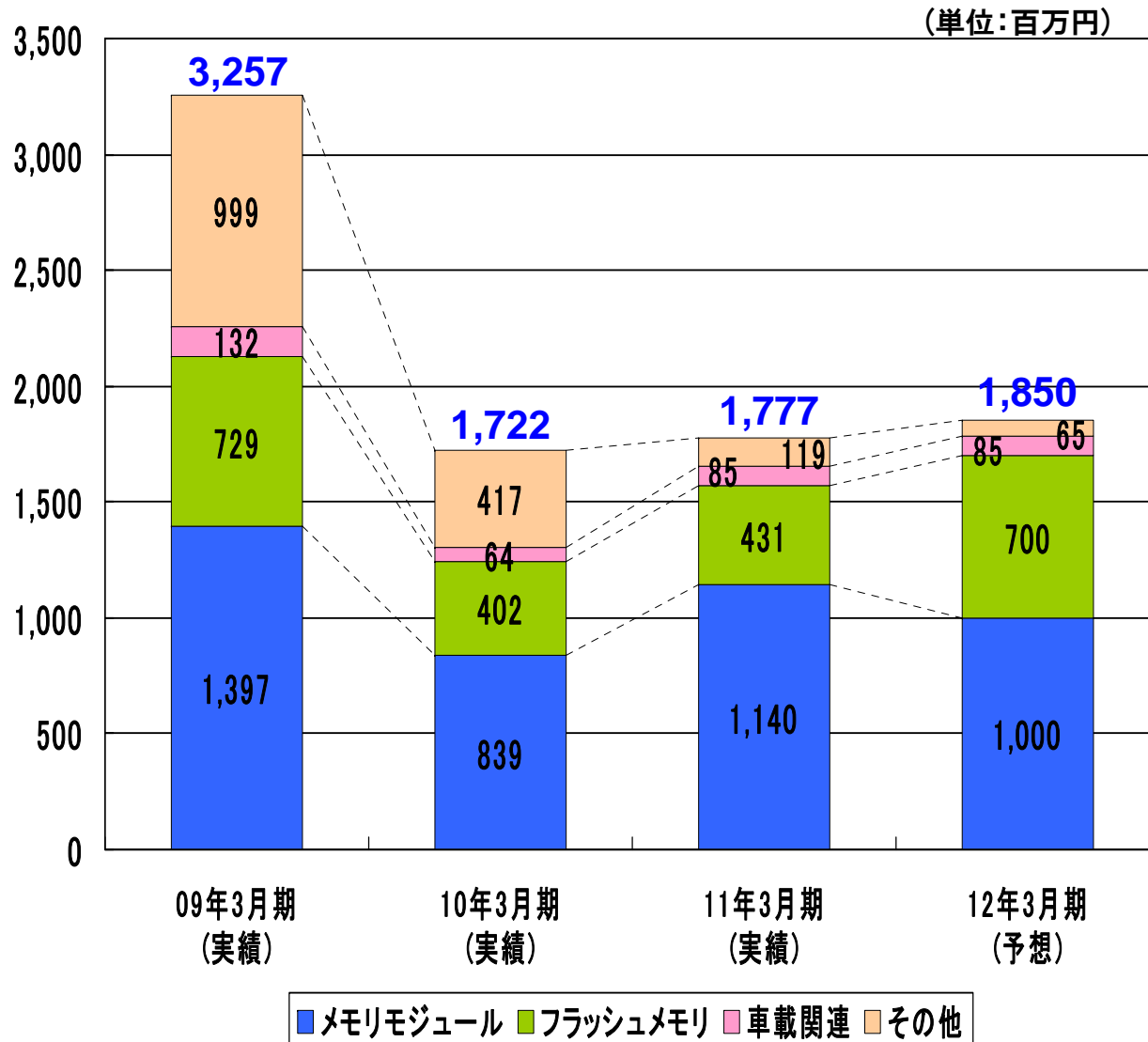
### 3: 2012年3月期予想 (2)

1: 事業概要

2: 2011年3月期決算概要

3: 2012年3月期予想

#### 売上構成推移 ①メモリ製品分野の拡大・深化 ②多種多様(顧客ニーズ)の対応



メモリモジュール  
・OEM向け製品 (インダストリアル向け)  
・一般向け製品

フラッシュメモリ  
・OEM向け製品 (インダストリアル向け)  
・一般向け製品

車載関連製品  
・ドライブレコーダー  
・車内用防犯カメラ

その他製品  
・お客様ニーズに対応した製品  
・幅広い情報収集と対応

### 3: 2012年3月期予想 (3)

1: 事業概要

2: 2011年3月期決算概要

3: 2012年3月期予想

#### ◎収益向上

- \* メモリ・フラッシュ製品分野の深化・拡大(インダストリアル製品の拡充)
- \* 原価低減、経費の適正化

(単位:百万円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期 予想	前年比
売上高	1,777	1,850	104%
売上総利益	338	365	108%
売上総利益率	19.0%	19.7%	
販管費	314	333	106%
営業利益	23	32	137%
営業利益率	1.3%	1.7%	
経常利益	16	30	181%
経常利益率	1.0%	1.7%	
当期純利益	16	26	159%
当期純利益率	0.9%	1.4%	

#### 主要施策

- メモリ・フラッシュ製品  
OEM新規案件の獲得  
B to B ビジネス(販路拡大)
- 車載製品分野  
ドライブレコーダー、車内カメラ
- 原価低減、適正在庫
- 内部統制システムの見直しによる業務の効率化
- 経費の適正化

業績の拡大

本資料の閲覧誠にありがとうございました。

<http://www.adtec.co.jp>

---

本資料の取扱上のご注意

本資料に記載された意見や予測などは資料策定時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、予告なしに変更される可能性もございます。